

わんにゃん通信 10月号

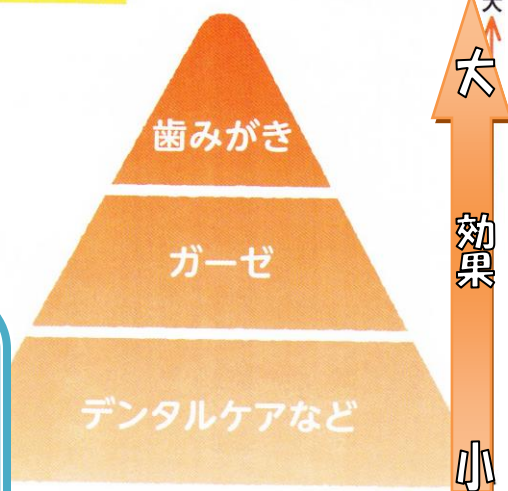
10月になり、気温も涼しく過ごしやすくなってきました。
例年通り、インフルエンザのワクチンを打とうと思っはいますが、
今年は新型コロナウイルスもあるのでいつもよりも感染症対策をしないと
なあと考えています。
さて今回は歯磨きのお話です。今回から先生からのコラムも載せてます。

お家でできるデンタルケア

デンタルケアには様々な方法がありますが最も効果があるのは歯ブラシを使った“歯みがき”です。
上達するまではデンタルケア用品(デンタルガム、液体デンタルケアなど)やガーゼを使いながら毎日実践しながら慣れていきましょう！

はじめに…歯みがきのポイント

- 歯ブラシ=いいものと印象付ける
- 褒める、ご褒美を忘れずに！
- 毎日の習慣にする
- 最初は短時間で切り上げる
- 散歩やご褒美をあげるなど、楽しいこととセットにする



ステップ① 口に触る

1. 口の周りをマッサージし、口周りを触られることに慣らす
2. 1~2秒そっと上唇をめくり、慣れてきたら時間を延ばす
3. 口の中に指を入れてみる。触る時間を少しずつ長くし、優しく歯肉や歯面をマッサージする
4. ご褒美をあげる



ステップ② ガーゼにチャレンジ

1. 水で濡らしたガーゼに缶詰の汁や肉のゆで汁、歯みがきペーストなどを付けて舐めさせてみる
2. ガーゼを巻いた指で歯に触れてみて、少しずつ触る時間を長くしていく
3. 少しずつ切歯、犬歯、臼歯の方に移動していき、優しく歯肉や歯面をマッサージする
4. ご褒美をあげる。



ここまで嫌がらずにできたらもうすこし！

ステップ③ 歯ブラシでタッチ

1. 水で濡らした歯ブラシに犬の一番の好物をつけて舐めさせてみる
歯ブラシ=いいものと印象付ける
2. 最初はそっと歯に触れ、少しずつ触る時間を長くする
3. 少しずつ切歯、犬歯、臼歯の方に移動していき、磨く時間を徐々に長くしていく



歯みがきの練習段階で嫌がる様子がある場合は無理矢理続けることはしないでね！

もう一度喜んでできていた部分、じっとできていたところまで戻り、成功させてから次のステップに進もう！



恵子先生のコラム

歯の病気の話

歯周病が進行すると以下のような病気に進行することがあります。当院でよく見る病気をご紹介します

●口鼻瘻管

口鼻瘻管とは、上顎の犬歯において歯周病が進行し、根尖周囲（歯の根の先）で炎症が進み、歯と鼻腔を隔てている骨が吸収され、口腔と鼻腔が貫通する疾患です。

症状：くしゃみや鼻汁、鼻出血などが見られます。

●眼窩膿瘍

眼窩膿瘍とは、上顎臼歯の歯周病や歯折が原因で根尖に細菌感染が起き、その一部に膿瘍が形成される疾患です。

症状：眼窩の腫脹で、進行すると皮膚の自壊が起こり膿や血液が排出されます。かなり痛みが生じるので、触らせてくれないこともあります。

●下顎骨折

重度の下顎臼歯の歯周病により、下顎の骨が解けてしまった結果、硬いものをかんだだけで骨折して口が閉じなくなることがあります。



口鼻瘻管



眼窩膿瘍

